

令和6年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河市駅前子育て広場	施設所管課	こども政策課		
指定管理者名	一般財団法人古河市地域振興公社	指定期間 (評価実施年)	令和 4年 4月 1日	～	令和 9年 3月 31日
			(指定期間 5年 のうち 3年目)		
施設設置目的	乳幼児の健全な遊び及び創造的な体験並びに交流の場を提供するとともに、その親に対し、子育てに関する情報及びコミュニティの場等を提供する				
主な実施事業	・古河市駅前子育て広場の管理運営事業 ・子育てに関する情報提供及び相談に関する事業 ・親子同士の交流、語り合い、遊び場の提供に関する事業				

●実績報告

開館・ 開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備 考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
340	28,477	0	0	50,306,000	53,066,853	51,628,914	1,437,939	

●管理運営状況

項目		評価基準(評価の観点)	評価内容			
			自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	○ネーブルパークや古河総合公園、総和地区スポーツ施設など他の指定管理施設同様に、条例・仕様書等の規定を遵守し、設置目的に沿った管理運営を行った。財政面でも健全である。	A	他の指定管理施設と同様に、施設の設置目的を十分に理解した管理運営を行っている。また、財政面においても安定している。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている	A	○利用時間・開館日は条例・協定書を遵守した。  ○定期清掃やメンテナンス等で臨時休館する際には、市の承認を受けたのち、広報紙への掲載とホームページやLINEなどのSNSにて配信し、事前に利用者への周知を行った。	A	仕様書及び協定書の内容(利用時間や開館時間等)を遵守した運営ができている。  保守管理上、変更が必要な場合には、市の承認を受けたのち、利用者へ周知を図っている。
		・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である				
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている	A	○利用者アンケートの実施、及び意見箱を設置することで、利用者からの様々な意見の収集に努めた。  ○定期的な玩具や絵本の入れ替えをしたほか、玩具のサブスクリプションを導入し、飽きのこない環境づくりに努めた。また、利用者の製作物を館内装飾として利用し、視覚的にも楽しめる工夫をした。	A	利用者アンケートの実施及び意見箱の設置により、利用者からの意見を集め、可能な要望であれば迅速に対応をしている。  利用者が飽きることなく利用できるように玩具の入れ替えや管内装飾をして、利用者が楽しめる環境づくりを行っている。
		・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている				
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である	A	○情報管理や危機管理に関しては、マニュアル、規定に従って行動するよう徹底した。  ○SNS(LINE、X)に掲載する写真等に関しては、利用者の個人情報保護されるよう細心の注意を払った。  ○利用者の安全を確保するため、危険な物が落ちていないか、子どもが危険な遊び方をしていないかなど、館内の見回りを慎行した。  ○既存の危機管理マニュアルの整備及び職員への周知徹底を図った。	A	「個人情報保護マニュアル」及び「情報公開実施規定」に基づき、個人情報などの管理を適切に行っている。  SNSに掲載する写真については、個人情報について細心の注意を払いつつ情報発信がなされている。
		・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている				
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A	○利用者の安全を確保するため、危険な物が落ちていないか、子どもが危険な遊び方をしていないかなど、館内の見回りを慎行した。  ○既存の危機管理マニュアルの整備及び職員への周知徹底を図った。	A	利用者の安全確保のため、日常的な施設内の点検や見回りを行っている。  危機管理マニュアルを整備し、職員への周知を行っている。
		・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している				
危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている	A	○消防法に基づく避難訓練、及び水防法に基づく水害を想定した避難訓練を行った。	A	防災訓練や水害を想定した避難訓練などを適切に行っている。	
	・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている					

3. 管理運営体制	人員体制	管理運営内容と整合した職員体制がとられている	A	○保育士資格を持つ人員を配置し、係内での打合せを定期的に行うことで、情報及び意識の共有を図った。	A	保育士資格や専門的な知識を持った人員を配置して、情報及び意識の共有を図っている。	
		必要な資格、専門的な知識を持った職員が配置されている		○防火管理者についても法令に則り、配置している。		防火管理者を適切に配置している。	
		人件費の設定は適切である		○子育て支援や広場運営に関する外部講習を受講し、職員のスキルアップを図った。		定期的に研修を実施し職員の知識及び技術の向上に努めている。	
		・業務遂行のための適切な職員体制がとられている		○利用者とのコミュニケーションを積極的に行い、親しみやすい環境づくりに努めた。			
	人材育成	職員の育成、資質向上のためのきめ細やかな取組が実施されている	A	○施設内清掃消毒及び玩具消毒を行い、利用者が安心して利用できるように努めた。	A	施設の維持機能のため必要な箇所を修繕し、利用者の安全確保に努めている。	
		・職員の育成、資質向上のための研修を実施している		○専門性の高い業務等は、事前に古河市の承認を受けてから再委託を行うとともに、業者からの報告及び各種報告書の提出を受け、成果確認を行っている。			再委託の際には、事前に市の承認を受けており、成果確認を実施している。
		・職員の技術向上のための研修を実施している					
		・利用者に対して気持ちの良い対応をしている					
	施設の維持管理	施設の機能維持、物品管理の方策は適切である	A		A	日常及び定期清掃や保守点検を行うことで安心して利用できる施設づくりに努めている。	
		・施設を清潔で衛生的に保っている。					
・施設の機能維持に必要な保守点検業務を実施している							
・修繕が必要な箇所や危険箇所を早期に把握できるような体制がとられている							
業務委託	再委託の業務範囲、委託方法及び委託先は適切である	A		A			
	再委託業務の成果確認の方法は適切である						
	・委託先を決める際に数社から見積もりをとるなど、委託方法及び委託先は適切であり、事前に市の承認を受けている						
	・再委託業務の成果確認を実施している						
4. 施設の効果的活用	広報・PR	利用者の増加を図るための広報計画や数値目標が適切である	S	○子育て広場のチラシを庁舎及び公社施設へ設置した。また、ホームページや SNS でのPRを行った。	A	チラシの配置及びホームページ及び SNS でのPRを行い、利用の促進に努めている。	
		魅力的なサービスや利便性向上につながる提案がなされている		○予約システムを活用し、利用者の利便性向上を図った。		予約システムを用いて利用者が予約しやすい環境づくりを行っている。	
	施設の活用	施設の利用拡大のための事業、または自主事業の取組が検討されている。	S	○季節のイベント(夏まつり・ハロウィン・クリスマス会)にSDGsの内容を取り入れた。	A	季節のイベントや古河市 SDG パートナー登録団体として SDGsの内容を取り入れた企画を開催するなど、施設活用を適切に行っている。	
		・魅力的な企画やイベントの実施により、利用者数や稼働率に効果がみられる					
5. 効率性	経費削減・収支バランス	経費節減のための方策は、無理がなく実現可能なものである	A	○利用料収入は当初予算では35,000 円を見込んでいたが、最終的には 67,600 円になった。	A	利用収入は、利用制限が解除されたことが市民に浸透したため当初予算より多くの収入となった。	
		設定額(サービスとコストのバランス)は妥当である		○駅前子育て広場に関わる会計は、他施設と区別して行っている。		会計は、他施設と区別した管理が行われている。	
		・利用料金収入は当初見込みと乖離していない					
		・修繕費は適切に執行されている(過剰な剰余金はない)					
		・収支計画書の範囲内で適正に予算を執行している					
		・指定管理に係る会計は、団体自体の会計と区別した管理をしている					
		・経費削減は施設機能の低下等なく実施されている					

【評価基準】

SS	優良:仕様書等の業務要求水準を上回る効果的・画期的な取組により、優れた成果があったもの【コメントに取組内容・効果の具体例を記入】
S	良:仕様書等の業務要求水準を上回る取組がされているもの【コメントに取組内容の具体例を記入】
A	普通:仕様書等の業務要求水準どおりに行われているもの
B	不十分:仕様書等の業務要求水準に達しておらず、さらなる努力・改善が必要なもの
C	不備:仕様書等に基づく実施すべき事項が履行されておらず、指導や事業内容の見直しが必要なもの

●総括評価

指定管理者	1年間の自らの管理運営状況、施設の実績等を評価し、翌年度の課題等があれば記入してください。	施設内における換気、消毒については引き続き継続し、利用者が安心して利用できる環境づくりに努めた。広場のイベントについては、毎年恒例の夏まつり、ハロウィン、クリスマス会を行い、積極的に SDGs の内容を取り入れ楽しみながら SDGs について触れる機会を作った。修繕については、玄関風除室内の間仕切り壁を撤去したことでより多くのベビーカー置き場や、待合スペースの確保ができ、利用者の利便性向上に繋げることができた。施設内のオムツ台に囲い板を設置したことで、利用者のプライバシー保護対策を行うことができた。また、懸念事項であった施設内の雨漏り対策についても修繕を行った。 玩具のサブスクリプションを導入し、玩具の購入頻度を減らすことで、SDGsに配慮した取り組みを行うことができた。支援センターにおいては、予約システムを活用し、更なる利用者の利便性向上に繋げた。 翌年度の課題としては、更なる利用者の利便性を高められるような修繕について、改めて協議させていただきたい。
所管課	事業報告書の内容、利用者アンケート及び実地調査の結果等を多角的に評価し、指定管理者制度導入の効果を検証してください。	利用者からの要望に対して、可能な範囲で迅速に対応し、利用者の目線に立った運営がなされている。また、今年度から玩具のサブスクリプションを導入し、定期的に玩具や絵本の入れ替えを行うことで利用者に飽きのこない環境づくりを行っており、利用者アンケートにおいても高い満足度を得ている。  施設の管理面については、感染症予防のための消毒液設置を継続して行っているほか、玩具消毒や喚起を行うことで利用者が安心して利用することができる環境づくり及び安全確保に努めている。  さらに、夏祭りやハロウィン、クリスマスなど利用者が参加しやすいイベントを開催することにより、利用促進、サービス向上に努めており、施設の設置目的や役割を理解した魅力ある施設づくりに真摯に取り組む姿勢を評価する。